

VIII

学生生活の手引き



学生生活に関する相談

■ 学生相談室(3号館 2階)

学生相談室では、専門のカウンセラーが皆さんの相談に応じています。相談希望者は、学生相談室に直接来室するか、または電話で相談の申し込みをしてください。

まずはインテーカーがあなたの話を聴き、カウンセリングの予約をとります。可能な限りその場でも対応しますが、相談は原則として予約制です。

相談内容

- ・対人関係(友人・家族・恋愛など)
- ・自分の性格について
- ・こころやからだの不調やストレスについて
- ・LGBT について etc.

開室時間 月～金曜日 10:30～18:30
TEL.075-322-6025

※心療内科医によるこころの健康相談
木曜日(月2回) 10:00～14:00

■ 人権教育啓発室(9号館7階) < ハラスメントに関する相談 >

本学は、すべての学生および教職員の人権を尊重し、ハラスメントのない快適な環境で教育・研究活動ができるよう、「ハラスメントに関するガイドライン」を制定し、セクシュアル・ハラスメントだけでなく、アカデミック・ハラスメントも含めたハラスメント防止の取り組みを行っています。

本学は、あなたのセクシュアル・ハラスメントやアカデミック・ハラスメントに関する悩みや疑問を受け止め、あなたのプライバシーの保護を第一に配慮し、あなたとともに問題の解決にあたります。

ハラスメントだと感じたら、ひとりで悩まず、いつでも相談に来てください。

開室時間 月～金曜日 9:00～18:30
土曜日 9:00～17:00
TEL.075-322-6045
e-mail: jinken@kufs.ac.jp

ハラスメントは人権侵害

セクシュアル・ハラスメントとは…

相手の望まない性的な言動によって、不快感や屈辱感を抱かせたり、相手の人格や個人としての尊厳を傷つけることです。同性および性的少数者への差別的な言動も含まれます。

< たとえばこんなこと >

- 男女にかかわらず、容姿・容貌を話題にして相手を不快にする。
- コンパなどで不必要に相手の身体にさわる。
- しつように交際を求める。しつこく電話・eメールをする。
- ひわいなことばや性的なことばで冗談をいう。

アカデミック・ハラスメントとは…

教育・研究の場における力関係や上下関係を利用した、いじめ・嫌がらせによって、相手に精神的苦痛や不利益を与える行為です。

< たとえばこんなこと >

- 本人の意思にそわない研究テーマを押しつける。
- 正当な理由なく、指導を行わない。
- 単位認定において、不公平な取り扱いをする。
- 人格を傷つける発言をする。

ハラスメントにあったと感じたら

被害にあった日時・場所・状況・あなたの対応やその時の気持ちなど、被害の記録をとっておいてください。

相談方法

希望するハラスメント相談員に電話や e メールなどで連絡してください。学科や事務室などに関係なく、ハラスメント相談員を選ぶことができます。

セクシュアル・ハラスメント専門相談員に相談することもできます。

セクシュアル・ハラスメント専門相談員との相談時間は金曜日の 14:00 から 18:00 までです。

本学のハラスメント相談員、セクシュアル・ハラスメント専門相談員の氏名や連絡先などの詳細は、リーフレット「ストップ!ハラスメント」を参照してください。

学外の相談機関（無料）

ハラスメントの専門相談機関ではありませんが、一般的な相談に応じてもらえます。

京都府男女共同参画センター相談室

京都市南区東九条下殿田町 70 京都テルサ東館 2 階
TEL.075-692-3437

ウィングス京都（京都市男女共同参画センター）

京都市中京区東洞院六角下る
TEL.075-212-7830

■ 保健室（3号館1階）

保健室は、皆さん一人ひとりが健康な大学生活を送れるよう、学生・教職員の健康診断、健康相談、怪我や疾病等の応急処置、医療機関の紹介、疾病に関する情報提供・注意喚起等を行い、日常の健康管理・健康保持増進および疾病予防に努めています。また、就職・進学・留学・奨学金申請等に必要な健康診断証明書の発行も行っています。もし、就学中に体調が優れないときや負傷したときは、我慢せずに来室してください。皆さんの健康をサポートしますので、気軽に利用してください。

開室時間 月～金曜日 9:00～21:30
土曜日 9:00～17:00

TEL. 075-322-6024

e-mail: hoken@kufs.ac.jp

定期健康診断

定期健康診断は、自己の健康状態を知り、健康を維持していく上で必要不可欠であり、学校保健安全法で定められていますので、必ず受診してください。また、社会人学生の皆さんは、本学または職場で必ず受診してください。やむを得ず指定した日時に受診できない場合は、大学指定の健診機関を紹介しますので、必ず保健室に連絡をしてください。

なお、本学あるいは大学指定の健康診断を受診していない学生に対しては、健康診断証明書を発行することができませんので、注意してください。（職場で健康診断を受診した社会人学生の皆さんに対しても、本学の健康診断を受診していない場合は、健康診断証明書を発行することができません。）

学校医による健康相談

学校医に相談のある人は、次の時間帯に来室してください。

木曜日 14:00～18:00

金曜日 13:00～17:00

遠隔地被扶養者証

下宿生は、万が一に備えて下宿先周辺の医療機関の確認および「遠隔地被扶養者証の健康保険証」を所持してください。医療機関では、保険証のコピーは認められませんので、医療費が全額負担となります。

| | | | |
|------|-----------|----------|--------------------------------------|
| 手続方法 | 協会けんぽ共済保険 | 在学証明書を添付 | 扶養者の勤務先に申請してください |
| | 国民健康保険 | | 印鑑持参のうえ、扶養者の居住地の市・区役所、町・村役場に申請してください |

病気治療中、経過観察中

現在病気で治療中または経過観察中の下宿生や京都市外から通学する学生は、病状が悪化したときに備えて、京都市内の医療機関と連携できるように地元の主治医と相談しておいてください。

就学中の事故防止のため、「主治医の診断書」(学校生活において注意すべきことがあれば付記してもらってください。)または「身体障害者手帳」を保健室に持参してください。

感染症

大学において予防すべき感染症の種類は、法令(学校保健安全法施行規則)で定められており、出席停止の処置を行いますので、感染の疑いがある場合は、直ちに保健室に電話で連絡し、必ず学校医または看護師の指示を受けてください。発病時に保健室への電話連絡がない場合は、出席停止指示書および出席停止解除証明書が発行できませんので注意してください。

なお、出席許可を得るには、治療を受けた主治医の診断書(初診日、発症年月日、診断、登校許可年月日)が必要です。必ず保健室に提出してください。

感染症の予防

- ア. 十分な栄養と睡眠をとり、ストレスをためないように心身の健康に努めましょう。
- イ. 帰宅時には、うがい、手洗いをしましょう。
- ウ. 部屋は、適度な室温や湿度を保ちましょう。
- エ. 予防接種は、感染症予防に有効です。医師と相談のうえ、接種してください。
- オ. 咳やくしゃみによりほかの人に感染させないために必ずマスクをしましょう。
- カ. 下宿生は、感染したときは家族、友人等に連絡をしましょう。

障がい学生支援に関する相談

本学では、障がいのある学生の修学支援、生活支援を行っています。(詳細はホームページの「障がい学生支援」のページを確認してください。)

支援を希望する場合は、下記の窓口に相談してください。

学生部：075-322-6021

学生相談室：075-322-6025

保健室：075-322-6024

アルバイト

アルバイトは、学資や生活費の一助とするのが基本です。

学業や健康等に支障のないよう十分注意して就労するように心がけてください。

特に新入生の皆さんは、少なくとも春学期中はアルバイトをするよりも、まずは大学生活になれるようにしてください。

本学では、危険を伴うものや教育的に好ましくない職種を避けるため「学生アルバイト情報ネットワーク (aines)」に加盟し、安心・安全なアルバイトを紹介しています。このシステムは、パソコンや携帯電話から、いつでもアルバイト求人情報を検索することができます。

アルバイト紹介システム利用方法

1. 学生アルバイト情報ネットワーク (aines) にアクセス

<http://www.aines.net/kufs/>

2. 登録

初めて利用する場合は、本学が交付するメールアドレスが必要です。

新規登録ページよりメールアドレスを登録し、IDとパスワードを取得してください。

※学内のパソコンに限り、オートログインが利用できます。

3. 閲覧

取得したIDとパスワードでログインして、本学に登録している求人情報が閲覧できます。

4. 応募

希望する求人先へ各自で連絡し、面接日などの指示を受けます。

※このアルバイト紹介システムは、本学が「(株) ナジック・アイ・サポート」に業務委託しています。

大阪事務局 TEL: 06-4806-0560 FAX: 06-4806-0550

学内でのアルバイト(図書館、マルチメディア教育研究センター等)は、アルバイト掲示板で紹介していますので、各担当窓口に応じ込んでください。

■ 注意事項

アルバイトの募集は、求人誌やダイレクトメール、チラシ等さまざまな方法で行われていますが、これらの中には、危険を伴うものや学生にふさわしくない職種、不利益な労働条件なものも含まれており、事故やトラブルも起きています。応募の際には十分注意し、また就労するにあたっては以下の内容を必ず確認してください。

① 仕事内容、就労場所

② 始業・終業時間、休憩時間、休日・休暇の諸条件

③ 賃金(金額、支払日、支払方法)

※時間給契約の場合、休憩時間に対する賃金は、通常支払われません。

※時間外や深夜に労働した場合は、賃金は割増しになります。

④ 工作中や通勤途中の事故やけが

※労災保険で療養費が支払われます。

その他、不明なことや気になることは必ず契約時に確認してください。

■ トラブルが起こったら

賃金の不払い、就労条件が違うなどのトラブルが起こった場合は、アルバイト就労にも労働基準法が適用されますので、アルバイト先の会社を管轄する労働基準監督署に相談してください。

● 京都労働局ホームページ

<http://kyoto-roudoukyoku.jsite.mhlw.go.jp/>

● 大阪労働局ホームページ

<http://osaka-roudoukyoku.jsite.mhlw.go.jp/>

● 兵庫労働局ホームページ

<http://hyogo-roudoukyoku.jsite.mhlw.go.jp/>

● 夜間・土日の相談は「労働条件相談ほっとらいん」へ

TEL: 0120-811-610

月・火・木・金…17:00～22:00

土・日……………10:00～17:00

食堂・書籍部・購買部・写真スタジオ・ATM

■ LIBRE (リブレ) 12号館 月～金／8:30～19:30 土／11:00～14:00

学内で3つある食堂の中で、一番大きなレストランです。食堂コーナーは557席、喫茶コーナーは112席。みんなで十分リラックスできる広さです。店内のインテリアは清潔でクリアなイメージ。また、店内では、弁当、パン、ドリンク等を販売しています。

■ COMPAGNO (コンパニョ) 1号館 月～金／8:00～20:00 土／8:00～19:00

1号館地下1階にあるカフェラウンジで、席数は130席。「COMPAGNO」とは、「仲間と共に集う」という意味。学生同士にぎやかに語らい、時には異文化交流も楽しめる、学内のオアシスとなっています。また、ラウンジ内では、学生のニーズにあわせた食品(弁当、パン、菓子、ドリンク等)を取り揃えています。

■ CAFE TARO (カフェタロー) 9号館 月～金／9:00～18:00 土／9:00～14:00

留学生が多い大学ならではのちょっとインターナショナルなくつろぎのスペース。席数は72席で、こじんまりしていますが、岡本太郎の絵がひときわ目を引くおしゃれなインテリア、家庭的で親しみやすいメニューなど、静かな人気のレストランです。

■ 書籍部 (11号館) 月～金／9:00～19:00 土／10:00～15:00

学生にとって書籍は大事なパートナー。ここでは一般書はもちろん、洋書や雑誌、専門書まで幅広く揃っています。充実したラインナップは、学生にとって心強い味方です。必要な本がない場合は、注文により取り寄せることもでき、すべて1割引で購入できます。

■ 購買部 (11号館) 月～金／9:00～19:00 土／10:00～15:00

学習に欠かせない文房具はもとより、家電製品からバス回数券、チケット、雑貨品、生活用品がここで購入できるので大変便利です。

■ 証明写真自動スタジオ

11号館購買部東側に、国際学生証、履歴書、パスポート用などの証明写真が撮れる自動スタジオを設置しています。

■ キャッシュコーナー 月～金／9:00～20:00 土／9:00～14:00

三井住友銀行と京都中央信用金庫のATMが、2号館1階北側ロビーに設置されています。

※営業時間は、休暇中など臨時に変更する場合があります。

研修施設

教育研究や課外活動等、幅広く利用できる施設です。

静かな環境の中で起居を共にし、教員や学生同士の交流を深める場として、大いに活用してください。

■セミナーハウス鹿野荘

山と川、豊かな自然に囲まれ、浴室は天然温泉を引いています。

町内には公民館施設があり、夏期休暇中は各クラブ団体が合宿に利用しています。

所在地 〒689-0425 鳥取県鳥取市鹿野町今市 541-1

連絡先 TEL:0857-84-2456 FAX:0857-84-2457

交通案内 JR 山陰線「浜村駅」下車、日の丸バス鹿野行に乗車し「湯花団地」で下車(バス所要乗車時間約 15 分)

※参加者が 15 名以上の場合は、スクールバスを利用することができます。

(運行調整により利用できない場合がありますので、事前に確認してください。)

施設内容 宿泊部屋 17 室(8 畳 4 室、6 畳 12 室、4.5 畳 1 室) 54 名宿泊可能

会議室、テニスコート(全天候型 2 面)、卓球場(卓球台 2 台)、娛樂室、浴室(天然温泉)、食堂

宿泊費 1泊 500 円(学生および引率指導者)

食事代 朝食 350 円、昼食 600 円、夕食 1,000 円(税別) ※夏期休暇中のみ利用可能

■鹿野町中央公民館 TEL:0857-84-2131 FAX:0857-84-2191

※施設使用を希望する場合は、事前に電話で確認すること

施設使用料

| 施設内容 | 使用料(1時間あたり) | その他使用料(1時間あたり) |
|------------|-------------------|----------------------|
| 競技場(体育館) | 半面 200 円、全面 400 円 | 照明 半面 270 円、全面 540 円 |
| トレーニング室 | 150 円(1回あたり) | — |
| 和研修室 | 半面 250 円、全面 500 円 | 冷房 左記使用料の 50% |
| 洋研修室 | 500 円 | |
| 生活改善室 | 300 円 | |
| グラウンド | 300 円 | 照明 3,000 円 |
| テニスコート | 1 面 200 円 | — |
| 旧勝谷小学校体育館 | 250 円 | — |
| 旧尾鷲河小学校体育館 | 250 円 | — |

■神崎研修会館

海水浴場が近くにあります。

所在地 〒624-0962 京都府舞鶴市東神崎 166

連絡先 TEL/FAX:0773-82-5047

交通案内 京都丹後鉄道「丹後神崎駅」下車 徒歩 15 分

施設内容 宿泊部屋 6 室(8 畳) 24 名宿泊可能

宿泊費 無料

各研修施設の申込方法

「施設利用申込書」(クラブ団体が合宿で利用する場合は「合宿届」)を、利用日の 3 ヶ月前から 2 週間前(厳守)までに学生部へ提出してください。

セミナーハウス鹿野荘の宿泊費は、事後に請求しますので、請求書の発行日から 1 週間以内に経理課へ納入してください。(食事代は、現地で支払います。)

< 注意事項 >

現地では、管理人の指示に従ってください。施設内はセルフサービスです。部屋の整理整頓やゴミの分別、喫煙マナーに協力してください。

< 協定施設 >

■あうる京北（京都府立ゼミナールハウス）

教育研究や課外活動に利用する施設として提携しています。宿泊費の一部を補助しています。

所在地 〒601-0533 京都市右京区京北下中町烏谷2番地

連絡先 TEL: 075-854-0216 FAX: 075-854-0316

交通案内 京都駅から西日本 JR バスに乗車「周山駅」で下車（所要乗車時間 約 80 分）
周山駅から京北ふるさとバスに乗車「ゼミナールハウス」で下車（所要乗車時間 約 15 分）
※送迎車を利用することも可能です。申込時に「あうる京北」に相談してください。

宿泊費 1泊1名につき 1,000 円を大学が補助します。

■申込方法

1. 代表（担当）者は、「あうる京北」に直接電話で仮予約をしてください。
※大学名・氏名等、必要事項を正確に伝えてください。
※予約は 1 年前から可能です。
2. 仮予約後、申込書類（利用申込書、食事申込書、付属施設・備品利用申込書等）を、「あうる京北」にメール添付または FAX してください。（宿泊者名簿は利用当日に持参してください。）
※申込書類は、「あうる京北」のホームページよりダウンロードしてください。
<http://www.kyosemi.or.jp/>
3. 申込が完了したら、申込書類のコピーを学生部に提出してください。

■予約の取消・変更

キャンセル料はかかりませんが、食事の変更等は 3 日前までに連絡が必要です。
取消および変更は、速やかに「あうる京北」へ連絡してください。



マルチメディア教育研究センター <7号館3階>

マルチメディア教育研究センターは、ICT 機器を活用した学生の語学学習と教員の教育・研究をサポートしています。

■ CALL 教室 (1・7・8号館 / 3階)

英語を基軸にもう1つの外国語を同時に学べる「2言語同時学習」をはじめ、CALL (コンピュータを利用した語学学習) など、さまざまなメディア教材を活用した授業で使用しています。

■ 情報処理演習室 (6号館 / 4・5階)

Word・Excelだけでなく、画像編集、統計処理といった専門性の高いソフトウェアも導入し、コンピュータを利用する数多くの授業で使用しています。また、授業で使用していない教室は「自習室」として開放しています。

■ 836 教室 (8号館 / 3階)

欧州会議 (EU) や国連の欧州本部でも採用されている同時通訳システムを導入。遠隔授業システムを使用して国内外の大学と遠隔授業をすることができます。

■ スタジオ (7号館 / 3階)

高性能な音声・映像編集システムやハイビジョンカメラなど、最新鋭の機器を使用して、マルチメディア教材を作成しています。

■ マルチメディア自習室 MAICO (6号館 / 6階)

「個人の学習目標達成のためのマルチメディア利用」という意味を表す『MAICO』。語学学習のための DVD 教材の視聴や英語の発音練習が可能な e-Learning ソフトなど、各種メディア教材を活用した学習ができ、目的に合わせた多様な自習スタイルに対応しています。

・ 個別学習エリア (45席)

コンピュータを用いた自習のほか、DVD 教材の視聴が可能。また、その内の12席には、カセット・MD・ビデオデッキ、海外衛星放送受信機を備えています。

・ 発音練習ブース (5席)

個別に仕切られたブースがあり、各自が英語の発音矯正ソフトを使い、声を出して発音の練習をすることができます。

・ グループ学習エリア (2室 / 各室定員 10名)

コンピュータ、プロジェクター、スクリーンを備えていますので、グループ発表の練習等に利用できます。

・ マルチメディア編集・制作エリア (1室)

自分の声を録音したり、各種メディアの相互変換等、メディアコンテンツの編集・制作に活用することができます。

■ ノートパソコン・プロジェクターの貸出 (1号館 / 3階)

1号館3・5階西側の学生ロビー、3～6階東側の学生ラウンジ、7階ホワイエで貸出ノートパソコンを使用でき、無線 LAN によりインターネットにアクセスできます。また、3～6階の学生ラウンジでは、プロジェクターを使ってホワイトボードに投影できます。

■ マルチメディア関連機器の貸出

ノートパソコン、プロジェクターやビデオカメラなど、授業や課外活動で使用するマルチメディア関連機器を貸し出しています。

■ 外国語自律学習支援室 NINJA (1号館 / 3階)

外国語自律学習支援室 NINJA (Navigating an Independent Non-stop Journey to Autonomy) は、外国語を通じて自律学習者を育成する施設です。NINJA のミッション (使命) は、「学習者誰もが自律学習者になるための能力を備えているということに対する『気づき』を、学習者に与えること」であり、以下の支援をしています。

- ・ 学習者の発達段階に適切、個別化された自律学習の支援
- ・ さまざまなレベルやニーズに合ったコミュニケーションの実践の場の提供
- ・ 外国語自律学習に役立つ教育資源の提供と効果的な活用の支援
- ・ 学科、学年、国籍を超えた学習者同士の学びを活性化するイベントや学習活動の開催

※ NINJAの詳細は 277・278 ページを参照してください。

図書館

■ 図書館・開館時間

| | 月～金曜日 | 土曜日 | 所蔵資料 |
|-----------------|------------|------------|------------------------------------------------------|
| 図書館本館（7号館1階） | 9：00～21：30 | 9：00～17：00 | 資料全般 |
| アジア関係図書館（9号館2階） | 9：00～18：30 | 9：00～17：00 | アジア関係資料全般 |
| 第4閲覧室（8号館地階） | 9：00～22：00 | 9：00～19：30 | |
| 第5閲覧室（8号館地階） | 9：00～21：15 | 9：00～18：15 | Books for Extensive Reading Dual-Language Books コーナー |

- ・入館の際、学生証を入館ゲートに通してください。
- ・休館日は、特別開館日を除く日曜および祝日、創立記念日、夏期・冬期休暇中の一定期間です。
- ・特別開館日の日程、開館時間の変更、休暇中の開館時間、臨時休館については、図書館HPや掲示でお知らせします。

■ 館外貸出について（貸出冊数と期間）

| | 冊数 | 期間 |
|----------------|-----|-----|
| 大学院生 | 20冊 | 4週間 |
| 学部生 | 10冊 | 3週間 |
| 短大生 | 10冊 | 3週間 |
| 科目等履修生 | 6冊 | 2週間 |
| 特別貸出（特別図書貸出制度） | 6冊 | 4週間 |
| 卒業生 | 6冊 | 2週間 |

- ・自動貸出機について：閲覧室の図書を利用者が自動で貸出できるようにカウンター横に設置しています。
- ・返却について：返却期限までに学生証を添えて返却してください。返却が遅れると延滞日数に応じて一定の期間、貸出を受けられません。文書による督促を受けた時は、通信料・手数料として1通につき100円分の証紙（切手代金を含む）を収めていただきます。
- ・リターンポストについて：閉館中の図書の返却は、図書館本館正面に置いてあるリターンポストに入れてください。（返却遅れの図書は入れないでください。）
- ・予約について：貸出中の図書に予約をすることができますので、閲覧カウンターに申し込んでください。また、「京都外大 My Library」からもWeb予約をすることができます。
- ・継続貸出：継続貸出は、返却期限内であれば図書を添えて申し込むことができます。予約がされている場合は継続することはできません。

■ 図書館では次のサービスを行っています。どうぞ、ご利用ください。

| | |
|-----------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------|
| レファレンス・サービス | 図書館HPから蔵書検索やデータベース検索を利用することができますが、資料の探し方や図書館の利用法がわからない時などはレファレンス・サービスに申し出てください。 |
| スマートフォン版蔵書検索 | スマートフォン版蔵書検索ページはこちら → http://osirabe.net/opac.kufs/ |
| 購入希望サービス | 「購入希望図書申込書」に記入して申し込むことができます。 |
| 相互協力サービス | 他大学図書館などから相互協力の取り決めに従って、複写物や図書の取り寄せや、他大学での閲覧は所蔵確認業務の後で紹介状を発行することができます。京都府立大学附属図書館とは共同利用協定を結んでいます。 |
| 書庫の図書の出納 | 図書は閲覧室と書庫に配架されています。閲覧室の図書は自由に利用できますが、書庫の図書はコンピュータから検索して係員に申し込んでください。 |
| 入庫 | 手続きをすれば書庫に入ることができます。 |
| グループ閲覧室の利用 | 図書館の資料を利用して、ゼミなどで学習・研究を行うための施設です。 |
| パソコン利用コーナー | 第1閲覧室のパソコン利用コーナーでノートパソコンを利用することができます。第4閲覧室、第5閲覧室にもコーナーがあります。 |
| 京都外大 My Library | 図書館HPから利用状況照会、貸出履歴、予約登録、Myブックシェルフなど個人ポータルを活用することができます。 |
| 文献複写サービス | 図書館に設置されている複写機で、図書館の資料の複写を希望される方は、「文献複写申込書」に記入してください。また、「著作権法第31条」（掲示）を守ってください。 |

※図書館の利用について詳しいことは、『Library Guide』をご覧ください。

国際文化資料館 <10号館4階>

イスラム圏・中南米の民族資料・考古資料や美術工芸品などの展示を行うとともに、世界各地の民族文化について調査研究し、広く大学内外に情報を発信しています。

博物館学芸員課程履修生の学習の場としても利用しています。

開館日時 月～金曜日 10:00～17:00

休館日 土曜日・日曜日・祝日

※展示替えなどのため臨時休館することがあります。

※特別展開催時は、休館日が変更になります。

TEL.075-864-8741

e-mail: umc@kufs.ac.jp

HP <http://www.kufs.ac.jp/umc>



奨学金一覧

経済的負担を軽減し、安心して学生生活を送れるよう、各種奨学金制度を設けています。

また、資格取得についても、年間2回、語学検定試験の受験料相当額を後援会が補助するなど、学生の学ぶ意欲に応える制度を整えています。

留学したい学生対象

■交換留学プログラム

給費

(1学期間・2学期間)

- 留学先大学の授業料免除および留学奨学金 19～50万円
海外の協定大学へ派遣する学生に対して支給

| 対象 | 採用人数 |
|------------|------|
| 大学に在学する正規生 | 160～ |
| 短大に在学する正規生 | 290名 |

■セメスター・アブロード・プログラム

給費

(1学期間)

- 留学先大学の授業料相当額
海外の協定大学へ派遣する学生に対して支給

| 対象 | 採用人数 |
|------------|------|
| 大学に在学する正規生 | 40名 |

■ブリッジ・プログラム

給費

(2学期間)

- 留学先大学の授業料相当額
海外の協定大学へ派遣する学生に対して支給

| 対象 | 採用人数 |
|------------|------|
| 大学に在学する正規生 | 6名 |

■オフ・キャンパス・プログラム

給費

(短期留学) (5週間)

- 留学先大学の授業料、往復航空運賃、宿泊費および保険料の合計金額の20%相当額(上限)
海外の協定大学へ派遣する学生に対して支給

| 対象 | 採用人数 |
|------------------|------|
| 国際教養学科 1～3年次生 | 30名 |

■夏期英語研修

給費

(5週間)

- 留学先大学の授業料、往復航空運賃相当額
海外の協定大学へ派遣する学生に対して支給

| 対象 | 採用人数 |
|------------|------|
| 短大に在学する正規生 | 4名 |

経済的理由により修学困難な学生対象

■家計困難者に対する学費免除

給費

- 秋学期の学費相当額
勉学に励みながら、家計の状況が厳しく、修学が困難な学生に対して支援する

| 対象 | 採用人数 |
|----------|--------|
| 大学1～4年次生 | 各学年10名 |
| 短大1・2年次生 | 各学年3名 |

■自然災害等の被災による学費減免

給費

- 当該学期の学費全額または1/2相当額を免除および見舞金10万円
自然災害等により被害に遭った学生に対して支援する

| 対象 | 採用人数 |
|------------|------|
| 大学に在学する正規生 | — |
| 短大に在学する正規生 | — |

■私費外国人留学生対象授業料免除

給費

- 当該年度の授業料の50%を限度として減額
学業成績優秀者で、経済的理由により学費の納入が困難な私費外国人留学生(在留資格「留学」)に対して支援する

| 対象 | 採用人数 |
|------------|------|
| 大学に在学する正規生 | 若干名 |

■緊急

貸費

- 当該学期の学費相当額(上限)
家計が急変し修学困難な学生に対して学資を貸す(無利子)

| 対象 | 採用人数 |
|------------|------|
| 大学に在学する正規生 | — |
| 短大に在学する正規生 | — |

■日本学生支援機構奨学金

貸費

- 3～12万円(月額)
学業成績優秀者で、経済的理由により修学困難な学生に対して学資を貸す(有利子・無利子)

| 対象 | 採用人数 |
|------------|------|
| 大学に在学する正規生 | — |
| 短大に在学する正規生 | — |

■総長奨学金

貸費

- 当該学期の授業料相当額
学業成績優秀者で、経済的理由により修学困難な学生に対して学資を貸す(無利子)

| 対象 | 採用人数 |
|-----------------------------|------|
| 大学に在学する正規生 (2016年度以前入学者) | 114名 |
| 短大に在学する正規生 (2016年度以前入学者) | 24名 |

■後援会奨学金

貸費

- 40万円(学期毎)
学業成績優秀者で、経済的理由により修学困難な学生に対して学資を貸す(無利子)

| 対象 | 採用人数 |
|-----------------------------|------|
| 大学に在学する正規生 (2016年度以前入学者) | 35名 |
| 短大に在学する正規生 (2016年度以前入学者) | |

成績優秀者の学びをサポート

■森田基金奨学金

- 大学 30 万円 (単年度) 給費
- 短期大学 15 万円 (単年度)
- 学業成績が特に優秀で、ほかの学生の模範と認められる人に支給

| 対象 | 採用人数 |
|----------------------|-------------|
| 大学 2～4 年次生 (英米語学科) | 各学年 6 名 |
| 大学 2～4 年次生 (英米語学科以外) | 学科毎に各学年 2 名 |
| 短大 2 年次生 | 4 名 |

■次世代リーダー育成プログラム

- 25 万円 (単年度) × 参加年数 給費
- 一定の基準を満たしたプログラム参加者に支給 詳細は P.123

| 対象 | 採用人数 |
|------------|----------|
| 大学に在学する正規生 | 各学年 60 名 |

■校友会奨学金

- 15 万円 (単年度) 給費
- 学業成績優秀者で、日本との文化交流に貢献する私費外国人留学生に対して支援する

| 対象 | 採用人数 |
|----------------------------|---------|
| 大学に在学する正規生 (在留資格「留学」を有する人) | 各学年 2 名 |

■後援会奨学金

- 15 万円 (単年度) 給費
- 学業成績優秀者で、経済的理由により修学困難な外国人留学生に対して支援する

| 対象 | 採用人数 |
|----------------------------------|------|
| 外国人留学生入試により入学し、大学 1・2 年次に在学する正規生 | 5 名 |

語学検定試験の資格取得をバックアップ

■新入生対象 TOEIC 受験料免除

- 受験料相当額 給費
- 入学後に実施する TOEIC (IP) の受験料相当額を補助

| 対象 | 採用人数 |
|-------|-------|
| 大学の新生 | 新入生全員 |
| 短大の新生 | |

■TOEIC IP 受験料免除

- 受験料相当額 給費
- 年度末に実施する TOEIC (IP) の受験料相当額を補助

| 対象 | 採用人数 |
|------------|-------|
| 大学に在学する正規生 | 受験者全員 |
| 短大に在学する正規生 | |

■語学検定試験受験料援助制度 (後援会)

- 受験料相当額 給費
- 各種語学検定試験の受験料相当額を後援会が年間 2 回補助

| 対象 | 採用人数 |
|------------|-------|
| 大学に在学する正規生 | 申請者全員 |
| 短大に在学する正規生 | |

※対象となる検定試験 P.142・246 参照

各種の課外活動をサポート

■学生表彰制度

※ P.300 参照 給費

その他にもさまざまな経済的支援制度を用意

| 名称 | 給費・賞費 | 制度概要 | 対象 | 採用人数 | 支給額・減免額・賞費額 |
|---------------------------|-------|-------------------------------------------------|------------------------|----------|-------------------|
| 校友会「輝く星となる学生」奨学金 | 給費 | 学業成績優秀者で、将来に向けてさらなる可能性 (潜在的な能力) を有している学生に対して支給 | 大学 1～3 年次生 短大 1 年次生 | 5 名 | 10 万円 (単年度) |
| 石間裕奨学金 | 給費 | 学業成績優秀者で、就職への意欲があるにもかかわらず、経済的理由により修学困難な学生に対して支給 | 大学 3 年次生 | 1 名 | 40 万円 (単年度) |
| 「ボランティア・アウトリーチプログラム」参加費補助 | 給費 | 国際教養学科のオフ・キャンパス・プログラムの参加費補助 | 国際教養学科 1～3 年次生 | 参加者全員 | 参加費の 20% 相当額 (上限) |
| 「日米グローバルスタディプログラム」参加費補助 | 給費 | 国際教養学科のオフ・キャンパス・プログラムの参加費補助 | 国際教養学科 1～3 年次生 | 参加者全員 | 参加費の 20% 相当額 (上限) |
| 「グローバルビジネス・プログラム」参加費補助 | 給費 | 国際教養学科のオフ・キャンパス・プログラムの参加費補助 | 国際教養学科 1～3 年次生 | 参加者全員 | 参加費の 20% 相当額 (上限) |
| 次世代リーダー育成プログラム海外研修参加費補助 | 給費 | 次世代リーダー育成プログラムの海外研修参加費補助 | 次世代リーダー育成プログラム参加者 | 各学年 60 名 | 参加費の 20% 相当額 (上限) |

上記以外に、民間団体や地方自治体からも本学に対して奨学金の募集依頼があります。

学生表彰制度

学生の皆さんが在学中に行った、社会貢献やクラブでの活躍、検定試験での成績などを評価し、総長表彰・学長表彰を行っています。自薦・他薦を問いませんので下記に該当すると思われる個人・団体は積極的に応募してください。表彰を受ける人には、表彰状および奨励金を授与します。

- 【申込資格】** 京都外国語大学外国語学部および短期大学に在学する正規生（休学中の人は申し込めません。）
※対象は、申請する前年度の申込期限以降から当該年度の申込期限までの活動や実績に限ります。
- 【申込期間】** 毎年度 12月上旬～1月中旬
- 【申込窓口】** 学生部
- 【申請方法】** 学生部備え付けの申請用紙に記入の上、参考となる資料を添付し、学生部に提出してください。
(申請用紙はホームページからもダウンロードできます)

| 表彰の種類 | 表彰基準 | 参 考 | 奨励金 | |
|-------|----------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|------|
| 総長表彰 | 公的機関の顕彰を受けた人で、特に顕著な実績をあげ、本学の名譽を高めた人 | 国、都道府県、市町村またはこれらと同等の公的団体、機関 | 15万円 | |
| | 学長表彰受賞後継続して活動した人で、特に顕著な実績をあげ、本学の名譽を高めた人 | 受賞後1年以上継続している活動 | | |
| 学長表彰 | 優秀賞 | クラブ、同好会等による課外活動で優秀な成績を収めた人 | 予選のあるスポーツ競技会、コンクールで関西規模以上のものにおいて最高位の成績を収めた人 | 10万円 |
| | | 社会貢献活動で顕著な実績を残した人 | 学生の自発的企画によって実施されるボランティア活動等（政治、宗教または営利を目的とするものを除く）で顕著な実績を残し、新聞・雑誌に掲載される等高い社会的評価を受けた人 | |
| | 難易度の高い公的資格を取得した人（ただし、英語に関する各種資格、検定の取得者で、大学の「次世代リーダー育成プログラム」の参加者は除く。） | （例）英検1級、TOEIC920点以上、ドイツ語技能検定1級、実用イタリア語検定1級、中国語検定1級、日本語教育能力技能検定、通訳技能検定、公認会計士 など | | |
| | 難関国家試験に合格した人 | （例）司法試験、国家公務員採用総合職試験、外務省専門職採用試験など | | |
| | 卓越した実績が認められる学術活動を行った人 | | | |
| 奨励賞 | 優秀賞に準じる優秀な成績を収めた人 | | 5万円 | |

ピカ☆イチProject

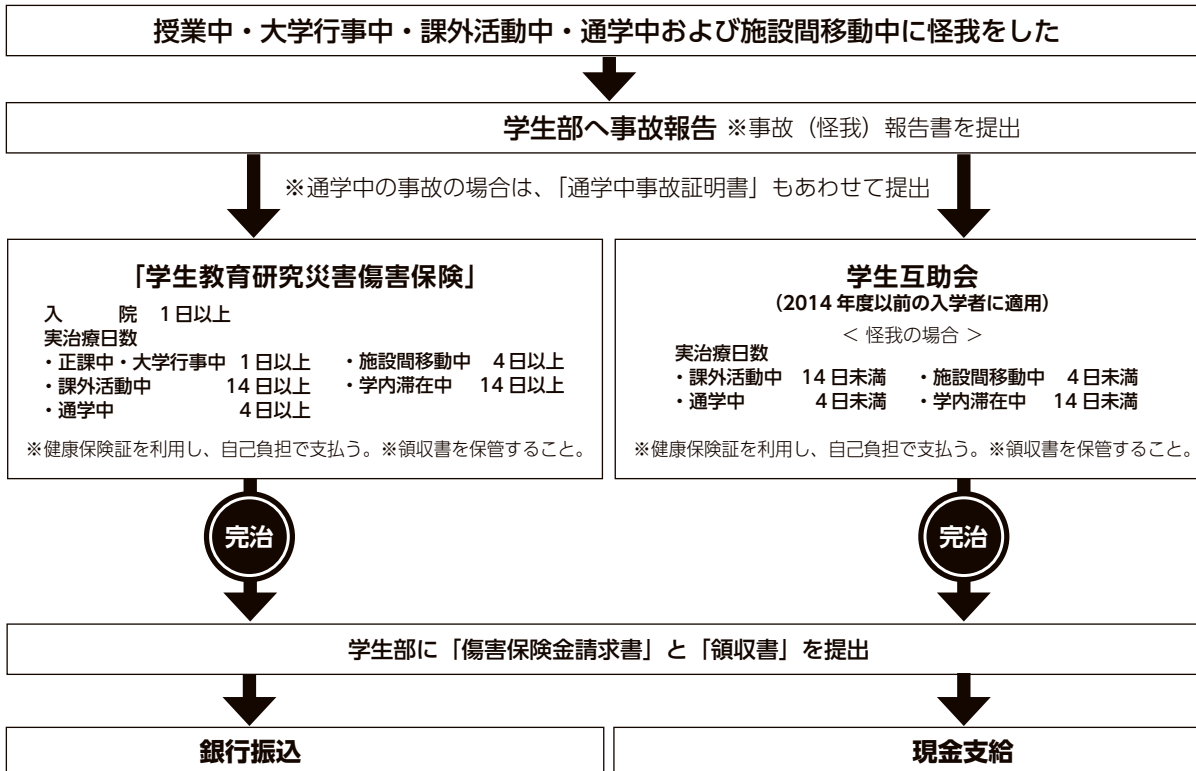
ピカ☆イチ Projectとは、本学学生の自主企画活動を支援するプロジェクトです。
皆さんふるって応募してください。

| | |
|------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 趣 旨 | さまざまな自主的活動を行う学生を支援し、新しく魅力ある企画を促進すること。 |
| 対 象 | 本学学生の自主企画活動（新規、既存とも可）。地域社会貢献活動、国際貢献活動その他のボランティア活動など自主的な発想による企画の実行で、種類は問わない。 |
| 特 典 | 採用された企画に奨励金（1年度上限 20 万円）を支給し、活動場所を提供する。 |
| 応募条件 | ①本学学生で構成されたグループまたは個人であること。 ②学生が企画および運営を主体的に行うこと。 ③中間報告書、実施報告書を提出し、報告会で活動成果を発表すること。 次年度の「言語と平和」の授業でプレゼンテーションを行うこと。 |
| 年間日程 | 4月中旬 説明会 4月中旬～5月中旬 応募受付 5月下旬 選考プレゼンテーション 6月上旬 認定書授与式 10月中旬 中間報告 1月末 結果報告、決算報告 |



災害傷害保険給付

授業・大学行事・課外活動に安心して参加できるよう、災害補償制度を設け、正規生全員が加入しています。



※上記以外に本学公認団体に対しては、「スポーツ安全保険」への加入を義務付けています。

- Q1. 学外で起きた実習中の事故も、対象になりますか？
正課であれば、学内外を問わず対象になります。
- Q2. 大学主催のスキー教室に参加しますが、その間の事故は、対象になりますか？
大学が主催する行事であれば、対象となります。ただし、行事期間中であっても私的活動は対象になりません。
- Q3. 課外活動中の事故は、すべて対象になりますか？
大学に届け出た課外活動のみ対象となります。学校施設外の活動については、大学に届け出ている場合は対象となりません。
- Q4. 自宅から大学への通学途中に映画館に寄った後におきた事故は、対象になりますか？
通学とは無関係な目的で経路をそれた場合は対象となりません。ただし、コンビニで夕食を買ったり、病院で診察を受ける場合などは対象となることがあります。
- Q5. 課外活動のためキャンパスから離れた場所へ移動する際におきた事故は、対象になりますか？
大学の授業等、学校行事または課外活動への参加目的の移動中で、合理的な経路および方法によるものであれば対象となります。

■ 学生総合補償制度 (学生保険)

学生生活における傷害事故・賠償を要する事故等不測の事態に備え、学内外を問わず、1日24時間を総合的に補償する東京海上日動火災保険株式会社の「学生総合補償制度」を紹介しています。この制度への加入は任意で、希望者は下記へ連絡してください。

問い合わせ先

東京海上日動火災保険株式会社取扱代理店：T. S. A.
〒160-0022 東京都新宿区新宿 1-16-10
フリーダイヤル 0120-085-086

NO DRUGS!

「危険ドラッグって、どこでも手に入るじゃない」「大麻って実は安全なんだって」「海外では合法だから大丈夫」「1回ぐらいならやったって平気」「みんなやっているよ」「気分が明るくなるよ」

これらはよく聞く誘い文句ですが、このような甘い言葉に乗せられて興味本位で薬物に手を出すのは絶対にやめてください。気づいたときには薬物がないと生活できなくなり、友人関係や家族関係も崩壊し、とりかえしのつかない事態に陥ります。

怖いのは、薬物に関する中途半端な知識と「自分は大丈夫。関係ない」という思いこみです。大麻をはじめ薬物乱用に関する正しい知識を身につけ、断る勇氣を持ちましょう。

危険ドラッグは、近年、特に深刻な社会問題となっており、意識障害や呼吸困難などの深刻な症状を引き起こすだけでなく、乱用者による犯罪や交通事故が頻発しています。これまでも薬事法によって指定薬物の輸入、製造、販売、授与などが禁止されていましたが、安易に入手・使用する事例が多くみられるため、平成26年4月1日から所持、使用、購入、譲り受けも新たに禁止されました。持っているだけでも取り締まりの対象となることをしっかりと認識してください。違反した場合、3年以下の懲役もしくは300万円以下の罰金またはこれらが併科されます。

大麻は、記憶への影響、学習能力の悪化、知覚の変化、人格喪失などを引き起こすほか使用を止めても依存性が残るなどとされています。

大麻は、大麻取締法により刑罰の対象になります。

- ・栽培、輸入、輸出 → 7年以下の懲役
- ・所持、譲り受け、譲り渡し → 5年以下の懲役

覚醒剤は、特に依存性が高く、乱用を続けると覚醒剤精神病になります。その症状は、使用を止めても長期間残る危険性があります。大量の覚醒剤を摂取すると急性中毒になり、死亡することもあります。

覚醒剤は、覚せい剤取締法により刑罰の対象になります。

- ・輸入、輸出、製造 → 1年以上の懲役
- ・使用、所持、譲り受け、譲り渡し → 10年以下の懲役

また、ほかの薬物も「麻薬及び向精神薬取締法」「あへん法」「毒物及び劇物取締法（シンナー等）」などの法律で規制されています。

< 参考 > 専門の相談窓口

京都府精神保健福祉総合センター TEL: 075-641-1810

京都市こころの健康増進センター TEL: 075-314-0874

薬物に関する正しい知識 / (財) 麻薬・覚せい剤乱用防止センター

薬物乱用防止「ダメ。ゼッタイ。」ホームページ

URL: <http://www.dapc.or.jp/>

薬物乱用防止学生委員会

本委員会は、大学内だけでなく幅広いフィールドで社会貢献活動をしている国内で初めての学生主導型組織です。京都薬物乱用防止行動府民会議および京都府薬務課・京都市こころの健康増進センター・京都府警・ライオンズクラブ等の団体、そして本学学生部と連携を図りながら薬物乱用防止啓発活動をしています。

(学内での年数回にわたる講演会開催や、学外各所での薬物乱用防止キャンペーンを実施)

ストーカーは犯罪行為

同じ相手に対して繰り返し「つきまとい」を行うのがストーカー行為です。平成 12 年 11 月 24 日に通称「ストーカー規制法」が施行され、こうした行為に対する処罰や被害者に対する援助が定められました。その後、直接的な行動だけでなくインターネットを使ったネットストーカーにも対応するため、平成 25 年にストーカー規制法の一部が改正され、電子メールの連続送信も「つきまとい」行為に含まれるようになりました。なお、ストーカー規制法では女性だけでなく男性も保護対象となります。

こんな人がストーカー

特定の人に対する好意の感情などを満たすため、次のような行為を繰り返して行えばストーカーとみなされます。

- 住居や学校などでのつきまとい、待ち伏せ、押しかけ。
- 監視していると告げる行為。
- 面会、交際など義務のないことを要求すること。
- 著しく粗野な言動、乱暴な言動。
- 無言電話、連続した電話・ファクシミリ・電子メール。
- 汚物や動物の死体などの送付。
- 名誉を傷つける。
- 性的羞恥心を侵害する。

被害を受けたらまず警察に相談

警察ではこうした悪質な行為に対して、行為者への警告や犯罪捜査による検挙などを行うほか、被害者に対して被害防止策のアドバイスや防犯機器の一時貸し出し、被害の防止交渉に関する助言などを行っています。

警察の警告書に従わない場合は、都道府県公安委員会が禁止命令を出すことができ、これに従わない場合は 1 年以下の懲役または 100 万円以下の罰金となります。なお、警視庁の統計によると警告によって 90%以上がストーカー行為をやめています。

相談時にはできるだけ多くの証拠を

ストーカー行為は人間の感情と深く関わっているため、公的機関である警察の介入が難しい面もあります。そこで、警察に相談する際は自分の受けたストーカー行為が第三者にも明確に伝わるよう、できれば次のような証拠を集めておきましょう。

- ストーカー行為のあった日時や場所をできるだけ詳しく記録しておく。
- ストーカーの言動や動作を文書にしておく。
- 手紙やメールを保存し、電話や会話も録音しておく。
- 相手の身元が分からない場合は、身長や体型、メガネの有無や髪形など、できるだけ詳しい特徴を記録しておく。

ストーカー被害の相談は…

京都府警 警察総合相談室 # 9110 または TEL.075-414-0110
最寄りの警察署

あの手この手の悪質商法

言葉巧みな勧誘で高額な商品やサービスを売りつける悪質商法。そのターゲットになりやすいのが社会的経験に乏しい若者です。悪質商法で扱われる商品は、絵画や宝石から健康器具、布団、さらに学習教材や資格講座、エステまで多彩。世の中にはそんなにおいしい話などないはずと冷静に考えて、だまされないようにするのが一番ですが、万一契約してしまった場合はクーリング・オフ制度を利用してすぐに解約し、被害を防止しましょう。

悪質商法の手口はさまざま

■マルチ(まがい)商法

友だちや知り合いを販売組織に加入させたり、商品を買ったりすると次々にリポートが入って簡単に高収入が得られる。そんな誘い文句で入会を促し、入会金や商品の購入代金を支払わせる商法です。しかし、実際には1人が2人を、2人が4人を勧誘するといったネズミ算式のシステムはすぐに行き詰って破綻してしまうことが明らかです。また、金銭的な被害だけでなく、加入した人は身近で声を掛けやすい友人などを勧誘するため、大切な人間関係を損なうことも少なくありません。最近ではインターネットを利用した「ネットねずみ講」も広がっていますので十分に注意してください。

■キャッチセールス

繁華街などで「アンケートに答えてください」「いま、無料でお肌のチェックをしています」といった声を掛けて営業所などに誘導し、断り切れない雰囲気をつくって高価な宝石や化粧品、エステなどを強引に契約させる手口です。知らない人から甘い話を持ちかけられても決して応じないようにしましょう。

■アポイントメントセールス

電話や郵便で「珍しい宝石があるのでご覧いただきたい」とか「あなたが当選なさいました」と営業所や喫茶店などに呼び出し、商品や会員権などを売りつける手法です。呼び出された先では帰ろうとしても帰らせてもらえず、何時間も説得されるため根負けして買ってしまうケースが多いようです。また、出会い系サイトなどで知り合った異性から「会いたい」と誘われて出かけ、宝石や毛皮など高額商品の契約をさせられる「デート商法」にも気を付けてください。

■資格商法

「安い受講料で簡単に資格が取れる」「資格の取得後は高収入が約束されている」といった言葉で建築士や社会保険労務士、電気主任技術者などさまざまな資格取得講座の受講を勧め、高額な登録料を請求したり、教材を売りつけたりする商法です。電話でしつこく勧誘された場合も、「結構です」「はいはい」といったあいまいな対応は禁物。勝手に承諾とみなされることがあります。また「認定前の国家資格」といったふれこみで架空の資格を勧める手口や、「以前受講した講座がまだ終了していない」「被害者リストから削除する」と言って新たな請求をしてくる二次被害も見られるので注意してください。

■モニター商法

布団や着物、浄水器などのモニターになってアンケートに応えたり、感想を報告したりすればモニター料を支払うと言って購入契約をさせる商法です。実際にはモニター料が支払われず、高額の商品代金だけが請求されるといった被害があります。

■内職・アルバイト商法

自宅でできるアルバイトを紹介するなどと言って勧誘し、その仕事に必要なだからと講習会に参加させたり商品を購入させたりします。しかし、仕事は紹介されず、講習費用や商品代金だけを取られてしまいます。

しまった!と思ったらクーリング・オフ

悪質商法にはほかにもさまざまな手口があり、若者の被害はあとを絶ちません。巧みな言葉でだまされたり、精神的に追い込まれたりして、冷静な判断ができないまま契約を交わしてしまうのです。しかし、そこであきらめないでください。あなたを救うためにクーリング・オフという制度があります。

一般的に、契約を交わせばお互いにそれを守るのが原則ですが、消費者を守るため、契約したあと頭を冷やす(Cooling Off) ための時間を設けて、一定期間内なら無条件で契約を解除できるようにしたのがクーリング・オフ制度です。

クーリング・オフ制度による解約は、期間内(下記参照)にハガキなどの書面で行います。契約先への送付は特定記録郵便または簡易書留を用い、送付内容は必ずコピーしておきましょう。クレジット契約をしている場合は、販売会社とクレジット会社に同時に通知します。

< クーリング・オフができる取引と期間 >

- 訪問販売(キャッチセールス、アポイントメントセールスなどを含む): 8日間
- 電話勧誘販売: 8日間
- 特定継続的役務提供(エステ、語学教室、学習塾、家庭教師、パソコン教室、結婚相手紹介サービス): 8日間
- 連鎖販売取引(マルチ商法): 20日間
- 業務提供誘引販売取引(内職・アルバイト商法、モニター商法など): 20日間

悪質商法やクーリング・オフ制度の相談は…

京都市消費生活総合センター
TEL.075-256-0800

命にかかわるアルハラ

大学生になると、新入生歓迎コンパやサークルの飲み会、大学祭など“お酒を飲む機会”が次々と待ち構えています。これらは仲間と過ごす楽しい時間のはずですが、同時に、急性アルコール中毒など死に至る深刻な危険もはらんでいます。法律で禁じられた未成年の飲酒はもちろん、たとえ成人であってもイッキ飲みや飲酒の強要は重大な事故につながりかねません。また、自動車やバイク、自転車などの飲酒運転による事故は被害者やその家族だけでなく、加害者自身の人生も台無しにしてしまいます。こうした悲劇を避けるためにも、アルハラ（アルコール・ハラスメント）についての認識をしっかりと持ち、飲酒のルールを確実に守ってください。

アルハラの実態とは

人権を侵害し、時には人の命を奪うことにもなりかねないアルハラ。次のような行為はすべてアルハラといえます。

■飲酒の強要

先輩・後輩の関係や罰ゲームなどで圧力をかけ、飲まなければならない状況に追い詰めることです。

■イッキ飲ませ

場を盛り上げるために一息で飲み干すことを強要したり、早飲み競争をさせること。

■意図的な酔いつぶし

酔いつぶすことを意図して飲ませること。場合によっては傷害行為にもあたります。

■飲めない人への配慮を欠くこと

本人の体質や宗教上の理由などを無視して無理やり飲ませるのはもちろん、酒類以外の飲み物を用意しなかった、飲めないことをからかったりする行為も該当します。

■酔ったうえでの迷惑行為

からんだり悪ふざけをする、暴言・暴力、セクハラ、その他のひんしゅく行為です。

※無理に飲ませた人が強要罪や傷害罪に問われるだけでなく、現場ではやし立てた人も傷害現場助成罪などに問われます。アルハラに気づいたら、すぐにやめさせましょう。

こんな状態は危険信号

お酒の飲み過ぎによる急性アルコール中毒では吐き気、嘔吐、めまい、動悸、血圧低下、意識障害などの症状があらわれます。次のような状態に陥った場合、あるいは命の危険を感じた場合にはすぐに応急処置を施し、ためらわずに救急車を呼んでください。

- 大きないびきをかいて、呼びかけたりつねったりしても起きない。
- 顔色が悪く、とろんとしていて、名前を呼んでもまったく反応がない。
- 体温が低下して全身が冷たくなっている。
- 呼吸が異常に早くて浅いか、異常にゆっくりしていて時々しか息をしていない。

覚えておきたい応急処置

- 周囲の人が付き添い、絶対に一人にしないでください。
- 衣服をゆるめて楽にし、毛布などを掛けて保温します。
- 酔いつぶれた人を抱き起して無理に吐かせるのは窒息の恐れがあって大変危険です。横向きにして吐物が自然に口から出るようにします。

カルトの罠にはまらない

カルト団体は、学生に被害を与えるだけでなく被害を社会に広げて学生を加害者にします。「信教の自由」はそこになく、カルト団体は信教・思想の自由、財産を侵害し、人間関係と社会生活を破壊します。絶対に近寄ってははいけません。向こうから近寄って来たら、きっぱり拒絶してください。

カルトの見分け方～例示～

■名前がない、名前が変わる（初期）

カルトは、最初は名乗りません。サークルを偽装したりボランティア活動やスポーツ、文化イベント、セミナーの形で、「親切で優しい」先輩の顔で誘惑します。

■活動内容が変わる（初期）

時期や参加者により活動内容を変え学生の興味を引きます。また、「1ヵ月体験入会」、「格安合宿」などの看板を掲げることもあります。

■異常に厳しい生活上の決まり

飲酒、喫煙、恋愛の禁止 等

■教祖や教団組織への盲目的服従

■信者の過去や人間関係の否定

■教団外の組織・制度の敵視

■信者の自主性やプライバシーの軽視

カルトへの対処法

■怪しい人（魅力ある、親切な、優しい人に見える）には近寄らない。

住所や電話番号を教えると、しつこく勧誘します。勧誘されたら、きっぱり断わってください。

■誰かに話す。

「この話には深い意味がある。ほかの人には理解できないから、両親や友人に話さないように」と言われたら、必ず家族や友人に話をしてください。

■情報統制を感じたら、直ちに逃げる。

この団体の言うことだけが正しくて、社会一般の情報は誤りであると言われたら、その時すでにあなたは危機的状況にあります。すぐに逃げてください。

■はっきりしなくても、大学（学生部）に相談する。

大学にはカルト関連の情報が 있습니다。他の大学や警察とも連携しています。

■証拠を確保する。

文書は日付を記して保存し、献金等の場合は日時といきさつをメモする。違法行為があれば写真記録や録音をする。

■自主性・自立性の養成

特に、新入生がカルトの勧誘のターゲットになります。根本的な解決策は、多くの情報を取り入れ、さまざまな人とコミュニケーションをとりつつ、批判的精神を鍛え、自主性・自立性を養成することです。

このことは、悪徳商法の罠や不正薬物の誘惑などに対して身を守ることにもつながります。

< 参考 > 日本脱カルト協会 <http://www.jsopr.org/>

20歳になったら国民年金

国民年金とは、年老いたときやいざという時の生活を、働いている世代みんなで支えようという考えで作られた仕組みです。

日本国内に住んでいる20歳以上60歳未満の人は、国民年金への加入が法律で義務付けられています。20歳になったら、必ず国民年金加入の手続きをしてください。

学生納付特例制度

学生のための保険料納付が猶予される制度です。

所得がない学生が、将来、保険料の未納期間を理由に、老齢基礎年金や障害基礎年金を受け取れなくなることを防ぐため、本人が申請すれば保険料の納付が猶予されます。

学生納付特例の期間は、年金を受け取るために必要な期間として計算されます。また、病気やけがで障害が残った場合も年金を受け取ることができます。

※猶予期間は、年金を受け取るために必要な「受給資格期間」として扱われますが、年金額には反映しません。ただし、10年以内にその期間の保険料を納付すれば、年金額に反映されます。

申請書は、住民票を登録している市(区)役所・町(村)役場の国民年金窓口または最寄りの年金事務所に提出してください。

詳細は、日本年金機構のホームページ(<http://www.nenkin.go.jp/>)で確認してください。

選挙権は18歳以上

公職選挙法等の一部が改正され、選挙権年齢が「満18歳以上」に引き下げられたことによって、大学および短期大学の全ての学生が有権者になりました。

選挙は、国民が政治に参加し、主権者としてその意思を政治に反映させることのできる大切な機会です。

選挙のマナーやルールを理解し、選挙権を有効に使ってください。

選挙に行くために

選挙権を持っていても、実際に投票するためには、市区町村の選挙管理委員会が管理する名簿(選挙人名簿)に登録されていなければなりません。選挙人名簿は、住民票がある市区町村で登録されます。実家を離れて下宿をする場合は、必ず住民票を移す手続きをしてください。事情により、住民票を移していない人は、実家のある市区町村で投票することになります。

選挙当日投票所に行けない場合は「期日前投票制度」や「不在者投票制度」、また、長期の留学中の場合は「在外投票制度」を利用することができます。

詳細は、市区町村の選挙管理委員会に問い合わせてください。